

平成30年第3回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者		質 問 方 式	
				一 括 質 問	一 問 一 答
9月12日(水)	午前	1	大原 伊一 議員		○
	午後	2	山本 知克 議員		○
		3	堀 勝重 議員		○
		4	白井 丈雄 議員	○	
13日(木)	午前	5	柳川 隆 議員		○
		6	タナカ・キン 議員		○
	午後	7	樋浦 恵美 議員		○
		8	山崎 光男 議員		○
		9	渡邊 雄三 議員		○
14日(金)	午前	10	山崎 雅男 議員		○
		11	土田 昇 議員		○
	午後	12	埴 豊 議員		○
		13	小林 由明 議員		○
		14	齋藤 信行 議員	○	
18日(火)	午前	15	長井由喜雄 議員		○
		16	藤井 秀人 議員		○
	午後	17	宮路 敏裕 議員	○	
		18	吉田 勝利 議員		○
		19	大岩 勉 議員		○

平成30年第3回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	大原伊一 (一問一答方式)	1. 高校卒業までの子ども医療費助成について	(1) 県内各市町村の動向と実態について	①本来は、国の制度に基づき運営されている医療制度が人口減少という事態に危機感を感じた地方都市にとって、更なる少子化が自治体の存続を脅かす事態となっている。 そんな中、県内の各市町村により子ども医療費助成の支援合戦が始まり状況が大きく異なっていると聞いているが、県内の状況について伺う。
			(2) 子どもの医療費の一部負担金の無償化について	①一部負担金の内容も異なっているようであるが、県内各市町村の無償化の実施状況について伺う。 ②子ども医療費の一部負担金の無償化の問題点について伺う。
			(3) 今後の本市の対応について	①各市町村の子ども医療費助成の状況を見て、平成29年度の出生数が500名を割った現実を重く受け止める必要と、ここまで子育て支援に本腰を入れてきた本市として、高校卒業までの子ども医療費助成の拡大を選択する必要があると思うが、今後の本市の対応について伺う。 ②本市が高校卒業までの子ども医療費を拡充する場合の財源確保について伺う。
		2. 公共施設の利用者負担金について	(1) 社会教育施設使用料見直し検討委員会の審査について	①公共施設使用料等の見直しについて審査している社会教育施設使用料見直し検討委員会の報告がなされたが、委員会は終了したのか伺う。 ②今までに行われた審査経過について、各回別にどのような議論があったのか伺う。
			(2) 公共施設使用料金の検討結果と財政について	①体育施設や公民館、図書館など市民が利用する公共施設の年間維持管理費を伺う。前年までの維持管理費に対して受益者負担金の年間の額、並びに新たに導入を予定する受益者負担金の年間予定額を伺う。 ②財政運営上、利用者と利用しない人との公平性が担保されていると自信を持って市民に答えられるのか伺う。 ③受益者負担が増えて、利用減になるような施設は、本当に必要な施設だったのか疑わざるを得ない。せめて全体の光熱費約3600万円くらいは、近い将来受益者が当たり前に負担する状態になることが望ましい姿であると考えますが、担当部局の考えを伺う。
		3. 大転換を迎えた農業情勢について	(1) 稲作の作付状況と販売環境について	①本年の作付けより国や行政による転作の配分が示されなくなり農業団体と農業者が自ら考え作付けを行うという状況下で、国内・県内・市内の主食用米の作付状況について前年との違いを伺う。 ②全体として食用米の増産傾向であると聞いているが米価が据え置き、少しでも上昇となると、次年度の大増産の危惧が有るが、次年度以降も作付け計画野帳の提出を求めていくのか。 ③外食産業向けの良食味で10㍍当たり600㍍以上の多収品種が多様に開発されており卸等から求められているが、市として外食用品種の普及に対する対策を講じていかないのか伺う。 ④米穀の検査の見直し・廃止が行われるとの報道がなされたが方向性は、捉えているのか。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	山本知克 (一問一答方式)	1. 社会保障の相談について	(1) 少子化から、介護の不安とその後について	①進む少子化の中で介護を分担する人がいない、仕事との両立が難しく介護離職や、その他の要因で職を失うことも聞かれる一方、収入の減少などで親元を頼らざる得ない状況も生まれている。 また一方で、親の入所や死別などを機に、生活への不安から再就職を望む声も聞かれるものの、年齢やさまざまな要因で難しいとも言われている「対応や課題」について伺う。
			(2) 社会保障の総合窓口について	①各種の支援制度があり、その中で適切な制度を選択し申請いただくには、「周知とスムーズな対応」が必要だが、新設や改善を含め検討できないか、現在の課題や考え方について伺う。
		2. 産業と観光支援	(1) デザインコンクール作品・新製品の産業支援について	①デザインコンクール・若者デザインコンペ受賞作の展示や紹介についてこれまでどのように紹介してきたのか、受賞作も作品から商品化への過程を経てさまざまな改良があるが、クオリティの高さをどのように燕ブランドの一つとして紹介し、支援していくのか伺う。
			(2) 観光資源とボランティア配置の検討について	①着地型観光を目指す施策の一つとして取り組まれている、産業観光受入体制整備事業の取り組みについて、過去3年の補助対象と成果、課題について伺う。 ②以前の質問で、産業史料館での案内について現在の音声ガイドの他に、案内の手段としてボランティアのガイドの配置を求めたが、検討はされたのか。リニューアルにあわせ体験工房館の設置で講師・ボランティアの予定についても伺う。 ③道の駅国上で、「周辺の観光案内や市内観光施設や観光スポット」を紹介できるよう展示について、いくつかの提案をしたが、その後検討されたのか。「五合庵、国上寺、国上の観光ボランティア」との連携、長善館史料館、分水良寛史料館他の紹介をどう考えるか、方向性と課題を伺う。
		3. ふるさと納税・お礼の品とクラウドファンディングについて	(1) ふるさと納税と産業の支援について	①県内トップのふるさと納税額の当市でも、毎年返礼品の品物も増えている。前年比の増加はどうだったのか、返礼品への応募数はどうだったのか、産業育成の観点から独自の広告が難しい個人、小規模生産者の商品も選定されたのか、審査はどのように行われたのか伺う。
			(2) ふるさと納税におけるデザインコンクール作品・新製品の紹介について	①デザインコンクール受賞作を含む新製品も生まれているが、ふるさとチョイス・さとふるでは、どの商品が新製品か分かりにくい。独自の広告が難しい企業も多く其れらの商品を期間限定し、クローズアップするなど産業振興に役立ててはどうか伺う。
			(3) 自治体、ふるさと納税クラウドファンディングについて	①ふるさと納税のポータルサイトとして、「ふるさとチョイス・さとふる」があげられ、応援寄附金の使い道などについて紹介されているが、クラウドファンディングと予定される事業について伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 子育て支援の充実について	(1) 子どもの医療費助成事業の拡充について	<p>現在、当市では子ども医療費助成制度を中学校卒業まで実施しているところではありますが、子育て中の方々から「燕市はどうして高校卒業までにしてくれないのですか」といったことを、複数の方々から私に言ってきている現状であります。これは子育て世代の方々からの生の声であり、少しでも負担軽減してほしい強い思いからであると受け止めております。</p> <p>① 高校卒業までを対象とした場合、対象となる子どもは現在、市には何人いるのか伺います。</p> <p>② 高校卒業まで医療費拡充を考えた場合の試算はどのくらいかかるのか伺います。</p> <p>③ 県内 20 市における子ども医療費助成事業の実施状況について伺います。</p> <p>④ 当市において充実した子育て環境を考えるならば、18 歳までの医療費助成の拡充を実施すべきと思うが、いかがか伺います。</p>
			(2) 児童クラブにおける食物アレルギー対応について	<p>昨年の 12 月議会において、児童クラブにおける食物アレルギー対応の体制の構築が必要であり、そして、何より子ども達の命を守るためにも「安心、安全なまちづくり」に沿うように、食物アレルギー対応が適切かつ確実に行われるよう早急な対応が必要であると質問をさせていただきました。</p> <p>答弁では、「今後は学校や園だけでなく、児童クラブにおいても職員の研修を一層充実させ、食物アレルギー対応をしっかりと行い、さらには専門的な知識を有する方々などの意見を聞きながら、遅きに失することのないように『児童クラブを対象とした食物アレルギー対応マニュアル』を来年の夏頃をめどに策定してまいりたい」とのことでありました。</p> <p>① 「児童クラブを対象とした食物アレルギー対応マニュアル」策定の進捗状況を伺います。</p>
4	白井 文雄 (一括質問一括答弁方式)	1. 農林行政について	(1) 林道工事について(国上連絡道の災害復旧について)	<p>① 工事請負契約の内容について(工事契約額や工事期間、施工エリアなど)。</p> <p>② 復旧工事はどのような工法で行うのか。</p> <p>③ 倒木などの立木処理について(樹種、本数、所有者数など)。</p>
		2. 教育行政について	(1) 中学生の職場体験について(GoodJob つばめ推進事業について)	<p>① 職場体験先はどのような方法で決めるのか。職種に決めるはないのか。</p> <p>② 学校での授業への支障はどうか。</p> <p>③ 体験先での実務作業における対応について。</p> <p>④ 職場体験後の気持ちはどう整理されているのか(本人、学校、職場、家庭での評価は)。もっと多種多様の職場体験が必要ではないのか。</p> <p>⑤ 職場体験の基本日数はどうなのか。小学校からの連携と上級校への進路連携とは結びついていくのか。</p>
		3. 水道行政について	(1) 送・配水管整備について	<p>① 整備での実施体制は両刃の剣とならないか。</p> <p>② ダクタイル鋳鉄管の耐震性はどうか。</p> <p>③ 黒鉛素材は健康に影響ないか。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 教育行政について	(1) アレルギー症状発症(5月25日)のこと	①発症の概要について伺う。 ②その原因について伺う。 ③今後の対策について伺う。
		2. 市民生活行政について	(1) 有害物質の大気中濃度及び地下水における環境基準値のこと	①県、国の調査結果の概要について伺う。 ②その原因について伺う。 ③今後の市としての対策について伺う。
		3. 総務行政について	(1) 障害者雇用のこと	①燕市の現況について伺う。 ②どのような方法で確認しているのか伺う。
6	タナカ・キン (一問一答方式)	1. サッカーにおける環境整備について	(1) サッカーにおける環境整備について	①6月議会の最終日6月26日に追加議案として「一般会計補正予算」が出された。その内容には「自治体クラウドファンディング事業について」として、平成28年6月議会で採択された「燕市でのサッカーにおける環境整備を求める請願書」に基づく「サッカー練習場整備事業」が含まれていた。 しかし、全員協議会で強い反対意見が出ると、まだ意見が出つきたわけでも無いのに、当局が取り下げるに至ったことには問題があったと思うが伺う。 ②2年前に採択された請願書の内容は、サッカーの公式戦の開催等が可能なサッカー場の整備で、今回の「サッカー練習場整備事業」とは異なっている。その点について伺う。
		2. 小学校普通教室のエアコン設置について	(1) 小学校普通教室のエアコン設置について	①今年度、文部科学省は学校の教室の「望ましい温度」の基準を54年ぶりに改定した。これまで「10度以上、30度以下」としていたのを、「17度以上、28度以下」に変更されたが、夏休み前の7月の小学校の教室の温度は何度だったのか伺う。 ②今年度は異常な暑さだったが、基準の改定に伴い市ではどんな対応をとったのか伺う。 ③議会からの「早期に市内小学校等の教室にエアコンの設置を求める要望書」を受け、市長は早期に設置すると言われたが、来年の夏までの設置に向けてスケジュールは万全か伺う。
		3. 小学生の徒歩通学について	(1) スクールバス運行について	①現在、市がスクールバスを委託しているのは小学校15校中3校で、うち1校は冬期間だけの運行である。また、運行団体へ補助しているのは2校で冬期間だけの運行である。遠距離通学区地域の児童への対応だが、スクールバスの運行基準を伺う。
		4. 給食アレルギー発症事故について	(1) 給食アレルギー発症事故について	①5月25日、燕市東部学校給食センターで給食を提供している学校で、給食のタンメンスープを食べた乳アレルギーを持つ児童、生徒が食物アレルギー症状を発症した事故について、6月30日になってやっと教育委員会は保護者らに経過と今後の対応について説明し、意見交換を行った。保護者に対する説明が、ここまで遅くなった理由について伺う。 ②また、燕市食物アレルギー対応委員会は7月4日に開催されたが、これも遅すぎると思うが伺う。 ③この委員会への報道機関・傍聴者の有無について伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 子どもの命と健康を守る対策について	(1) 学校の暑さ対策について	<p>①全国各地で猛烈な暑さが続き、学校現場においても児童や生徒が熱中症とみられる症状を訴え、病院に搬送される事例が多く見られた。子どもは体温の調節機能が発達しておらず、熱中症になりやすいとされている。燕市の小中学校における暑さ対策について伺う。</p> <p>②熱中症を引き起こす原因は、気温だけでなく、湿度や風通しなども大きく関わってくる。熱中症を防ぐため、気温・湿度とともに熱中症の警戒度を表す暑さ指数を計測、表示する熱中症計がある。 子どもの命と健康を守るため、小中学校への熱中症計の設置を提案したいが、考えを伺う。</p>
		2. がん対策について	(1) 女性特有のがん対策について	<p>①近年、女性特有の子宮頸がん、乳がんの罹患者年齢が若くなり、罹患者も増加傾向にある。早期発見、早期治療が重要であるが、平成29年度の受診状況について伺う。</p> <p>②乳がんは唯一、自分で発見できるがんであり、日頃からの自己チェックを心がけることが大切である。他の自治体では、入浴時に使える乳がんの自己チェックシートを配布している。早期発見、早期治療につなげるためにも必要であると思うが、自己チェックシートの配布について考えを伺う。</p>
		3. 消費者被害を防ぐための取り組みについて	(1) 消費者被害を防ぐための取り組みについて	<p>①振り込め詐欺や架空請求といった特殊詐欺をはじめ、さまざまな消費者被害は全国的に増加傾向にあり、被害者世代は高齢者だけでなく、幅広い世代に広がっている。市民課で実施している消費生活相談の平成29年度の状況について伺う。</p> <p>②消費者被害を未然に防止するため、どのような啓発活動をされているのか伺う。</p> <p>③平成28年4月に施行された改正消費者安全法は、都道府県・区市町村に「消費者安全確保地域協議会」を組織することを規定している。燕市の状況について伺う。</p>
8	山崎 光男 (一問一答方式)	1. 燕市の関係人口について	(1) 関係人口に関連した事業の現況と、今後の方向性について	<p>①関係人口とは、住んでいなくても地域に多様に関わる人々を指すことから、東京つばめいとは関係人口と関連がある。この事業は平成27年度から実施されているが、これまでの成果と課題、今後の方向性を伺う。</p> <p>②つばめ産学協創スクエアコンセプトノートには、「燕を経験した人材を各地に増加させたい」と記載されていることから、この事業は関係人口と関連がある。この事業は平成28年度から実施されているが、これまでの成果と課題、今後の方向性を伺う。</p> <p>③関係人口は、「観光以上、移住未満」と捉えられることから、つばめ移住定住促進事業は、関係人口と関連がある。ふるさと回帰フェアは、国内最大級の移住マッチングイベントで、9月9日に開催されたフェアには燕市も出展した。その他にも多くの移住・交流フェアに参加しているが、これまでの成果と課題、今後の方向性を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	山崎光男 (一問一答方式)	1. 燕市の関係人口について	(2) 関係人口を増やすためのさまざまな施策や、具体的な取り組みについて	<p>①総務省の関係人口ポータルサイトでは、ふるさと納税の寄附者に対して、地域と継続的なつながりを持ってもらう関係人口の構築の例が、図や表も用いて具体的に紹介されている。燕市も多くの寄附者に対して、このような取り組みを実施し、全国各地に関係人口を増やしてはどうか。</p> <p>②関係人口を拡充する手法の一つとして、「準市民制度」が再び注目されている。準市民制度とは、その地域に住んでいなくても、応援したいという思いで誰でも登録できるサポーター制度で、本県では佐渡市が好例である。燕市もこの準市民制度を導入し、将来にわたって本市とつながる人を増やしてはどうか。</p> <p>③総務省は平成30年度予算を発表し、関係人口創出事業に2.5億円を計上した。関係人口は、地域活性化の新たな形として全国から脚光を浴びている。この事業は、先の小項目の他、空き家を利活用したり等、各自治体が独自性に富む施策を展開、本県では三市が既にこの事業を採択している。燕市もこの事業に本格的に着手し、人口減少対策として関係人口の創出を図ってはどうか。</p>
		2. 災害に強いまちづくりについて	(1) 避難誘導看板の設置について	①突然の大災害発災時、最寄りの避難所にスムーズに誘導でき、また普段の防災意識の醸成を図るためにも、指定避難所までの方向や距離を示した避難誘導看板を設置してはどうか。
			(2) 避難所自動解錠ボックスの設置について	①夜間や休日など、避難所の施設管理者が不在の時に大震災が発生したら、職員も被災するため、速やかに避難所を開設することができない。避難者自身が解錠して中に入れば減災につながれることから、避難所自動解錠ボックスを導入する自治体が増えている。燕市も設置を検討してはどうか。
9	渡邊雄三 (一問一答方式)	1. 安全対策について	(1) 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保の推進について	<p>①通学路の道路に面した危険なブロック塀等のリストアップの調査を進め、必要な安全対策を行うとあるが何件あって、どのような安全対策を行ったのか伺います。</p> <p>②この中には、法定点検の対象外の施設はあったのか、これらの安全点検はどうするのか、燕市も希望世帯に対して、ブロック塀の無料点検をしてはどうか伺う。</p> <p>③民間の安全性に問題のあるブロック塀等の工事着手中の間、安全確保はどうするのか伺う。</p> <p>④学校防災マニュアルに基づき改めて通学路を確認すべきと思うが如何か伺います。</p> <p>⑤安全性に問題のある通学路はどうするのか伺う。</p> <p>⑥通学路に面している民間のブロック塀等の撤去費用等を支援すべきと考えるが伺います。</p>
		2. いじめ対策について	(1) 小中学校のいじめ対策について	<p>①平成30年3月定例議会でいじめ対策アプリストップ導入提案の質問をしました。答弁として「今後その効果について研究するとともに、導入している自治体の実情を調査していく」とのことでしたが、どのような研究と調査を実施したのか伺います。</p> <p>②3月に質問以降いじめについての現状と対応について伺います。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	渡邊 雄三 (一問一答方式)	3. 交通公園について	(1) 交通安全施設について	<p>①業務目的に、子供から大人までみんなが自然に親しむ憩いの場及び児童の交通学習の場として市民サービスの向上を図るための円滑な運営と適切な施設の維持管理を行うことを目的としている。とありますが、どのように遊びに来た園児、児童に交通学習を行っているのか伺います。</p> <p>②これまでに報告のあった事故件数を伺います。</p> <p>③遊びに来た園児、児童に交通ルールを教える指導員は配置されているのか伺います。</p>
10	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 一般国道116号吉田バイパスの早期事業化と関連道路の整備等について	(1) 一般国道116号吉田バイパスの早期事業化と関連道路の整備等について	<p>①国道 116 号吉田バイパス早期事業化に向けての直近の動向と今後の取り組み、進め方について伺う。</p> <p>②圃場整備の進展に向けた実務者会議を重ね、吉田バイパス法線決定を早急に進めるよう都市計画決定していただきたいが、取り組みについて伺う。</p> <p>③都市計画道路整備方針として国道 116 号吉田バイパス及び、関連道路の整備等道路機能の位置付けを踏まえ、必要な道路整備を促進することについての計画の動向を伺う。</p>
			(2) 市街地周辺道路について	①主要な農村振興基本計画登載道路事業としての主要地方道燕分水線(野本～粟生津)の改良整備の推進についての動向、内容について伺う。
		2. 一般国道289号燕北バイパス第一区間から第二区間延伸の今後の見通しについて	(1) 交通混雑の緩和に朝日大橋効果を最大限に発揮するために	<p>①一般国道 289 号燕北バイパス(仮称)朝日大橋、計画延長 4750 ㍓で概算事業費約 102 億円。第一区間の延長は(仮称)朝日大橋 395 ㍓、井土巻・小高取り付け道路 605 ㍓の 1000 ㍓で概算事業費約 52 億円。完成予定は平成 30 年度(平成 31 年 3 月)上流側に暫定 2 車線で供用開始予定である。</p> <p>供用開始後に市内に多くの自動車が入り込み、労災病院前の幹線道路である八王寺・佐渡線の渋滞が予想され市民生活への影響が懸念される。バイパス延伸されることで、第一区間(仮称)朝日大橋の効果を最大限発揮できるものと思うが、今後、第二区間 1800 ㍓の延伸の今後の見通しについて伺う。</p>
3. 医療的ケア児・者と保護者・家族支援について	(1) 7月に重症心身障害児育児サークル意見交換会で日常生活での問題等を伺ったことについて	<p>①重症心身障がい児・者等の基本的な生活においては、ほぼ全介助を必要とする。生活の動きそのものにおいて身を委ねなければ生活できないが、本人が身を委ねている相手の存在や状態等を把握することが必要で、日常生活において身を委ねている身近な存在は、地域社会で生活をしていく場合、私の知る限り、家族、保護者がほとんどである。</p> <p>重症心身障がい児・者支援における本人支援と保護者、家族支援は表裏一体かと思うが認識と見解を伺う。</p> <p>②身近な場所に通所支援事業者や短期入所施設が少なく、昼夜を問わず医療的ケア児を介護する保護者、家族の実態把握と課題について伺う。</p> <p>(次ページへ続く)</p>		

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	山崎 雅男 (一問一答方式)	3. 医療的ケア児・者と保護者・家族支援について	(1) 7月に重症心身障害児育児サークル意見交換会で日常生活での問題等を伺ったことについて	<p>③障がい児・者の傍らには本人と共に暮らす家族の存在があり、家族はさまざまな悩みや葛藤を抱くことが多いといわれています。</p> <p>「障がいをどう受容すればよいか」、「障がい者本人中心の生活で保護者自身は当然、二の次、三の次」。そして以前より社会の理解、視線は薄らいできているが、「差別、偏見を恐れ誰にも素直に相談し難い」辛さや大変さを、保護者一人で抱え込み抑鬱(よくうつ)状態に陥ったり、自己肯定感を持てなくなるケースも少なくないと思われまます。</p> <p>障がい児・者等を在宅で介護している保護者、家族を休ませる一時的に介護を代替し、リフレッシュを図っていただく家族支援サービスのレスパイトについての市の考え方を伺う。</p> <p>④普通学校に通わない障がい児の昼食代は、1カ月に7,000円から9,000円にもなるといわれている。燕市特別支援学校就学援助条例によって、障がい児の居住形態の別ごとに、いくらかの支援を受けることができるが、市立小中学校の給食では、保護者負担の軽減を目的として市が給食米購入費の一部を助成している。「同じ燕市の子どもの給食問題」として、市が普通学校以外の子どもの給食費助成について考えられることはないのか伺う。</p> <p>⑤吉田特別支援学校等卒業後、利用施設が少なく定員数に限りがあり、生活介護は受け入れが難しい現状である。重度障がいの子どもたちが楽しく過ごせる生活の場がなく、学齢終了後、将来の不安を抱えているが、不安解消の解決に向けての見解を伺う。</p>
11	土田 昇 (一問一答方式)	1. 柏崎刈羽原発の再稼働問題について	(1) 原発事故の検証はどうなっているか	<p>①先の県知事選挙で、柏崎刈羽原発の再稼働の問題が選挙の大きな争点になったと思うが、6月県議会の中で花角氏が知事選で掲げた公約をどのように具体化していくのか、与党、野党関係なく問われたと報道されました。</p> <p>答弁では、前知事が進めていた、県独自の福島第一原発事故の三つの検証(事故原因の検証、健康と生活への影響への検証、安全な避難方法の検証)を引き続き徹底的に進めていくと答弁しました。市長の見解について伺います。</p> <p>②再稼働の問題について三つの検証の結果が示されない限り、原発再稼働の議論を始めることはできないという姿勢は堅持すると述べ、検証の結果については、広く県民に情報共有するし、県民の信を問わない形での再稼働は行わないと明言されています。</p> <p>この点についても市長の見解について伺う。</p> <p>③国の第5次エネルギー基本計画についても伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発 言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
11	土田 昇 (一問一答方式)	2. 県立吉田病院の早期建て替えについて	(1) 地域医療の実態について	<p>① 県立吉田病院は築 43 年で耐震化がされていないので早期の建て替えについて、私は再三再四議会の中で取り上げて発言してまいりました。</p> <p>いよいよ改築位置も含め、年度内策定と報道されましたし、花角新知事も整備基本計画は、合意形成が重要で、安全、安心な医療の推進のために、着実に事業を推進する姿勢を示しており、吉田病院の地域貢献の観点で議論を進めてほしいと発言されました。</p> <p>その一方で診療機能については、基本的に県央基幹病院に集約して、吉田病院は後方支援に当る相互補完の考え方で、限られている医師の活用で、外来は維持したうえで、入院は基幹病院に集約する意見が多かったと報道されたが、本当にそのような話が出たのか伺います。</p> <p>② 燕市として、市役所周辺への移転を要望してきたが、改築場所については県の決定事項で、同委員会で議論はしないとしてきたが、先に述べたように、整備基本計画の中に改築場所についても明記するとしているが、現状の認識について伺う。(三條新聞の8月24日の報道に従って伺います。)</p>
		3. 国道 116 号吉田バイパス建設の促進について	(1) 市内 11 地区間の早期整備実現について	<p>① 国土交通省、新潟県、燕市の3者による、第6回実務者打ち合せ会議が国土交通省新潟事務所で開かれ、バイパスの構造について、現道拡幅区間とも4車線とする「全線4車線」と、現道拡幅区間を4車線、バイパス区間を2車線とする「現拡部4車線+バイパス2車線」の比較案について検討されたと報道された(2月12日)。それ以後の見通しと今後の対応について伺う。</p> <p>② 大河津分水路改修事業で発生する掘削残土利用による国道116号吉田バイパスの完成を要望してきたが、今後も最大の努力をしなければならないと思うが、その点について市長の決意を伺う。</p>
		4. 有機塩素系溶剤の排出量について	(1) 県が排出抑制の指導しているが	<p>① 県が7月に設置した検討会の第1回会合で、環境問題に詳しい有識者から課題の指摘や、地下水の汚染実態の調査などを求める意見が相次いだと報道された。</p> <p>県は2019年度中に数値的な目標を含めた指針の策定を進め、事業者とも協力し、セミナーを開くなど、3年間で排出削減に力を入れていくとしているが、今現在、農家の間でトリクロロエチレンの問題で今年の米価がどのように評価されるか大きな心配が出ている。用水等々に入っていないと思うが、その点について明確な答弁を求めて伺います。</p>
		5. 体育施設の指定管理について	(1) 利用料金の徴収方法について	<p>① 領収書の発行は燕市スポーツ協会、ミズノグループとなっているが、市との関係はどのようになっているのか伺う。</p> <p>② 指定管理にして以後、燕市スポーツ協会、ミズノグループに入った金額について伺う(昨年度の分だけ)と同時に、今年の現在までの金額について伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	塙 豊 (一問一答方式)	1. 人口減少社会を迎えて人口減少が燕市に与える影響について	(1) 財政面への影響	①合併特例期を終えますますます厳しくなる財政について。 ②人口減による国、地方両方ともに歳入減となる社会が燕市に及ぼす影響について。 ③公共施設の維持管理、及び学校、保育施設への見通しについて。
		2. 産業問題について	(1) 多くの企業体が廃業の危機を抱えている状況について	①廃業を防ぐ施策について。 ②行政として関わられるところはあるのか。
		3. いじめ問題について	(1) いじめへの気づきについて	①早期発見、早期対応への取り組みについて。 ②学校、先生、保護者の関連について
(2) 問題化して後の対応について	①学校、教育委員会との関係について。			
13	小林 由明 (一問一答方式)	1. 平和教育と主権者教育について	(1) 広島平和記念式典派遣事業と平和教育と主権者教育について	①広島平和記念式典派遣事業は、派遣された生徒にとって平和について考える非常に良いきっかけとなっているが、その他の生徒にとってどのような成果を導いているのか。 ②戦争や原子力爆弾の恐ろしさを知り、恐怖を覚え、二度とこのようなことを起こしてはならないということは、言うだけなら誰もがができるししている。主観的感情的なところで止まることなく「なぜ戦争が起きるのか」「どうすれば戦争が起こらないのか」といった客観的で現実的な学びと議論、そして行動が生まれるよう取り組むべきではないのか。 ③平和な社会の実現は誰もが望むべきものであり、平和とはなにか、平和の実現と維持のためにどうすべきかを考えることは、どのような社会を築いていきたいのかを考え行動することと同義でもある。 平和教育と主権者教育は密接であり、平和を意識できるこうした機会を活かし、市民全体が客観的現実的にそれらと向き合い考えるための取り組みにつなげていくべきではないのか。
		2. 公園について	(1) 「近所の公園」の果たす役割などについて	①いわゆる近所の公園、身近な公園が持つ役割や可能性、管理や活用についての考え方、そして、それに向き合う燕市の姿勢を伺いたい。 ②自治会等が管理する、いわゆる近所の公園は、身近な憩いの場としても大切なものであり、地域価値を高め住みよい都市環境を実現する要素ともなる。これらの持つ可能性を十分に発揮させる方策を考え、取り組むべきではないか。 ③「三燕みどりの森公園」は、日ごろから利用者が多いようには感じられず、夜間に至っては人通りはほとんど無い。この公園の果たすべき役割をどのように考え現状をどのように受け止めているか。また、今後の展望を伺いたい。 ④「三燕みどりの森公園」は、飲食店が立地する側を除き周囲に外灯がなく、夜間は真っ暗となる。近隣住民などから「暗闇で騒いでいる人たちがいる」という声もあるが、防犯的にもそうした不安要素をできる限りなくす対応をすべきと思うがいかがか。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 部活動の方針について	(1) 燕市の部活動等に係る方針について	<p>① 中学校の部活動に対して、スポーツ庁は平成30年3月に、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定し、また、県教育委員会は平成30年5月に「新潟県部活動の在り方に係る方針」を策定しました。それらを受けて燕市教育委員会は、部活動のガイドライン、または方針の策定をどのように行っているのか進捗状況を伺います。</p> <p>② 県の方針は、部活動を担当する教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、指導の負担軽減を図ることが目的の一つであると聞いている。燕市もそのような考え方で策定しているのかを伺います。</p> <p>③ 燕市の策定しているガイドライン、または方針で、国や県にはない特色があれば伺いたい。</p> <p>④ ガイドライン、または方針の公表はいつ頃になるのか、タイムスケジュールを伺います。</p>
		2. いじめ対策について	(1) いじめの早期発見と対策について	① いじめは早期発見ができればよいが、わからない所でのいじめが進行している場合が多々あると思いますが、その対策についてどのように考えているのか伺います。
			(2) いじめにあった子どものケアについて	① いじめにあった子どもの心のケアについては、相談、指導を行う先生または専門職員など、どのように考えているのか伺います。
		3. 成人式について	(1) 成人式のあり方について	① 成人年齢を20歳から18歳に引き下げる民法改正があったが、2022年には成人式をどのように考えているのか伺います。
4. 花火大会について	(1) 花火大会の考え方について	<p>① 花火大会は平成26年度から庁舎南側で花火の打ち上げが平成30年度まで打ち上げていますが、今後の花火の方向性について市として考えがあるか伺います。</p> <p>② 花火大会に対する市民の意見、要望等、市として把握しているのかも伺います。</p> <p>③ 合併15周年の花火大会と、2022年の成人式とたとえば合わせた記念イベントなど考えられないか伺います。このことについては、1年の差がありますが成人式の事情もあり、花火大会を新成人に利用できないものか伺います。</p>		
15	長井 由喜雄 (一問一答方式)	1. 安心・安全で質の高い幼児施設および学校施設について	(1) 学校エレベーターの設置について	<p>① 文部科学省は、学校施設のバリアフリー化についてどのように求め、燕市内小中学校でのエレベーターの設置状況はどうか。現在も西小学校でエレベーター設置の声が上がっている。階の移動が困難な児童生徒がいる学校では、バリアフリーの環境が整っているのか。教室移動などでエレベーターが必要とされる事例の過去・現在と、対象児童が在籍する場合の燕市のバリアフリー化についての考えを伺う。</p> <p>教育環境の公平性と、学校施設のバリアフリー化の推進の観点から、必要とする対象児童・生徒がいる場合にはエレベーター設置を求めるが考えを伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 安心・安全で質の高い幼児施設および学校施設について	(2) 食物アレルギーについて	① 5月24日および25日に提供された学校給食において、乳成分による食物アレルギー事故が発生した。当事者を始め、市民に向けた説明などで不信感や怒りの声があった。事の検証はどうであるか。原因・要因・対応・改善について伺う。
		2. 猛暑対策について	(1) 主要な公園にミストシャワー設置を	① みなみ親水公園には「噴水」施設があり、一体のものとしてミストシャワーも置かれ、大変喜ばれている。ふれあい広場や交通公園にも設置を要望し、簡易式のもので対応しているが、その他主要公園である分水さくら公園や中央公園、東町公園にはないのではないかと設置を求めるが考えを伺う。
		(2) 生活保護世帯におけるエアコン未設置世帯について	① 今年7月に「家具什器費」でエアコンの設置費が一定の条件下で認められ、5万円の支給が可能となった。これには「本人申請」が必要とされているが、情報の周知はどうか。また国が示した条件では3月時点での保護世帯は対象外となってしまう。燕市の保護世帯のうち、エアコン未設置の世帯数は把握されているか。また明らかに条件による差異が生じることに對し、福祉事務所としてどう考えるか伺う。未設置世帯には特別措置も必要と考えるがいかか。	
		(3) 地域の自治会館の開放で高齢者や子どもたちに涼しい環境を	① 高齢世帯及び「日中高齢世帯」、そして夏休み期間の子どもたちが涼しい環境で過ごせるよう、市として自治会に自治会館(公会堂)の開放を呼びかけてはいかか。考えを伺う。	
		(4) 学校にミストシャワー設置を	① 議会の総意として幼保小学校にエアコンを設置するための補正予算が提案された。しかし、プールの利用も気温・水温の上昇で中止となる状況下で、学校にもミストシャワー設置を求めたい。考えを伺う。	
		3. 子どもの医療費助成を高校卒業まで拡大を	(1) 高校卒業までの拡大を	① 日本共産党が実施したアンケートで、子育て支援の中でも子どもの医療費助成は高校卒業までにしてほしいという声強い。県内では6市がいまだに中学卒業までとどまっている。燕市においても少子化対策の一環としても高校卒業まで拡大することが定住・移住につながるのではないかと。入通院とも高校卒業までの年齢に拡大することを求めるが考えを伺う。
		4. 国民健康保険税の負担軽減について	(1) 燕市の国保税と負担軽減について	① 国民健康保険都道府県化後はじめて本算定を迎えた。一人あたり国保税はどのようになったか。また、県内比較ではどうか。これまでの保険税比較からどのようになっているか。これまでも県内では上位となってきたと思うが、一般会計繰入で税負担軽減策を図るべきと考えるがいかか。また「保険者努力支援制度」による予算配分について燕市の見解を伺う。 ② 加入世帯の中で子どもの「均等割」について、被用者保険では子どもの数に左右されないが、国保では子どもを含めた「均等割」があり、子育て支援、少子化対策の観点からも逆行する。高校卒業までの年齢まで付加しないことを求めるが考えを伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
16	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 災害対応について	(1) 豪雨災害への対応について	<p>①大河津分水路の改修事業について、先日、市長をはじめとして国へ陳情に行かれたと聞いておりますが、今後も計画どおり進行するのか、市長の認識はどのようなお持ちなのか伺いたい。</p> <p>②情報の発令基準と避難のタイムラインの中で、避難情報の頻度、種類を今年度に入ってどれくらいあったのか、また、数年で比較して回数の変化があるのか伺いたい。</p> <p>③西日本豪雨では、ハザードマップを住民が良く理解していなかったとの問題点が指摘されているが、今後、市民への説明をする機会などは考えられているのか伺いたい。</p> <p>④数十年に一度の大雨が予想される段階になると発表される「大雨特別警報」(土砂災害、浸水害)では、避難の徹底や訓練が事前に必要ではないかと考えるが、その辺の考えを伺いたい。</p>
			(2) 総合防災について	<p>①総合防災訓練は、ここ数年同じような形で行われているが、見直しは考えていないのか伺いたい。</p> <p>②最近では地区防災計画の必要性もいわれているが、燕市全体の中で、どれくらい進んでいるのか。また、企業との協定も含めどれくらいの数が計画されているのか伺いたい。</p>
17	宮路 敏裕 (一括質問一括答弁方式)	1. 地域の公民館の改修・整備について	(1) 利用者本意の利便性を図るために	<p>①地域にある公民館は時代の変遷に合わせ、住民にとって大事な拠点として親しまれてきた。高齢化社会の進展の下、最も利用する高齢者にとって、気軽に安心して活用できるような配慮が求められる。利用者からの要望など把握されているか、また、利便性の点で課題をどう捉えているか伺う。</p> <p>②藤の曲公民館は保育園が併設した複合施設で、階段を上がれない高齢者などにとっては特別な配慮が必要な施設であることを、市民の声を紹介し問題点を指摘してきたが、この間、対策を検討などされてきたのか伺う。</p>
		2. 燕労災病院の跡地利用について	(1) 地域住民の声をどう生かすかについて	<p>①市長は跡地利用の県との協議にあたり、地元の声を聞くことが大切であり、その上で手順としては県が県営施設など事業主体となる道筋が判明したら、病院周辺の住民の声、要望を大切に、それらを尊重した具体的内容を持って協議を進めるというスタンスであると表明してきたと捉えるが、改めて認識を伺う。</p>
		3. 高齢化社会において公共交通のあり方について	(1) 燕市の公共交通について	<p>①循環バス「スワロー号」の休日運行実証実験に取り組み、分析結果をどう捉えているのか、また、課題は何か伺う。</p> <p>②自動車を運転しない高齢者や、毎日の通学の足が必要な高校生などが、路線バスと市の循環バスを組み合わせ活用することなど含め、利便性を向上させるためのニーズ調査をすべきと思うが認識を伺う。</p>
		4. 格差と貧困をどう抑えるかについて	(1) 生活保護基準の見直しの影響について	<p>①今年10月からの生活保護基準引き下げにより、市の事業へ連動することになれば、格差と貧困を一層広げることとなる。市の制度に波及させないことが本市の子どもの貧困対策事業にも沿うことになると思うが、認識を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
18	吉田 勝利 (一問一答方式)	1. 燕市の産業について	(1) 金属製品製造に関する洗剤について	<p>①燕市の金属製品製造事業所数は。</p> <p>②金属製品加工時の洗剤である、トリクロロエチレンの全事業所での年間使用量は。</p> <p>③この洗剤の使用後の廃棄処分方法はどうか把握されているのか。</p> <p>④燕市の金属製品製造業の方が廃業、または工業団地等に移転されることにより生じた跡地(空地)はどのくらいあるのか。(件数)</p> <p>⑤これら跡地(空地)で、現在トリクロロエチレンの検出されている所はどのくらいあるのか。</p> <p>⑥これら跡地(空地)で“売り地”とされているところはどのくらいあるのか。</p>
			(2) 金属製品製造業の現状と他産業分野への進出について	<p>①特殊鋼材(ステンレス材)使用による金属製品製造品目種には、現在が精一杯と思われるがこの点について。</p> <p>②この製造業には、当然研磨業が必要であるが、現在研磨されている事業所数とそれに携わっている人数はどのくらいか。</p> <p>③これら製造業の従業員の平均年齢は何歳ぐらいになるのか、また、研磨業の方でも何歳ぐらいになるのか。</p> <p>④特殊鋼材(ステンレス材)について、国内メーカーの出荷量(ト)は年間どのくらいか。</p> <p>⑤そのうち、燕産業界の年間使用量はどのくらいか。(ト)</p> <p>⑥洋食器業界も金属ハウスウエア業界も現状から新分野に参入することが大事と思われるが、行政としてその点どう考えられておられますか。</p>
19	大岩 勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 県央地区の今後の医療体制について	<p>①県央基幹病院の新たなアクセス道路整備、周辺地域の冠水対策など整備基本計画の進捗状況を市長に伺う。</p> <p>②県立吉田病院の早期改築整備基本計画は進んでいるのか、市長は県に対して燕市としての要望を強くされているのか伺う。</p> <p>③燕労災病院の今後の跡地利用はどのような方向になっていくのか。</p> <p>④燕市長は朝日大橋完成後の「佐渡・小関線」道路の改良は考えているのか伺う。</p>
		2. 政党機関紙「しんぶん赤旗」の庁舎内での購読勧誘・配達・集金について	(1) 政党機関紙「しんぶん赤旗」の庁舎内での購読勧誘・配達・集金について	<p>①政党機関紙の私的購入は国民として、市職員も自由であります。全国の地方議会でも日本共産党機関紙「しんぶん赤旗」の庁舎内での購読勧誘・配達・集金を行わないよう求める動きが相次いでおります。</p> <p>燕市長は政党機関紙の庁舎内での、配達集金の許可証を一部の議員に発行しているのか、庁舎内ではどのくらいの部数が配達されているか、確認されているか伺う。</p> <p>②東京都総務部長宛てや都議会管理部長宛てに「新聞の配達・集金」業務のため名簿を提出されております。燕市議会事務局には同様な提出はないとのことだったが、燕市ではどうなのか伺う。</p> <p>③人事異動の3月末は昇進する職員にはお祝いの言葉を述べて購読を勧誘し、退職する職員にはねぎらいの言葉の後に、自宅での引き続きの購読を頼むセールス業務が議員により庁舎内で行われていることについて燕市長は何ら対策もされず、事実上黙認されている理由を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
19	大岩勉 (一問一答方式)	3. 学校教育について	(1) 通学路の安全対策について	<p>①小学校では集団登下校されているのか、されていない学校は何校あり、されない理由を伺う。</p> <p>②校区の皆様に登下校見守り隊のお願い書が各学校から7月に配布されたが、参加増員された人数を確認されているか伺う。</p> <p>③白山町児童館の子どもたちがエリアを探検し「地域安全マップ作り」をしましたが、小学校では危険な場所・こども110番の家の周知はどのようにされているのか伺う。</p>
			(2) 部活動指導に外部人材拡充を	<p>①文部科学省は、全国の公立中学校に部活動指導員を12000人配置する経費として13億円をも盛り込む方針を決めたと報道されていますが、学校教育課は動向を把握されているか伺う。</p> <p>②スポーツ庁は、中学の運動部活のガイドラインで週2日以上以上の休養日を設けると明記し、順守条件として指導員確保の経費の3分の1を補助するとしているが、確認されているのか伺う。</p>
		4. 防災意識を高める町づくりについて	(1) 防災意識を高める町づくりについて	<p>①災害発生地の写真やパネルの展示、教室を開き住民らが避難所などの運営方法を学ぶ取り組みはされているのか伺う。</p> <p>②緊急消防援助隊に燕市は登録されているのか、風水害への対応強化や資機材の充実は進んでいるのか伺う。</p>